



かみきたチャリティーマルシェ すみれ版

始まったかみきたチャリティーマルシェとは

児童養護施設 福音堂 NPO SalamatA 尼ホ
シエハウスで暮らす四名の若者

二十二年十二月に上北沢一丁目
で「かみきたチャ
リティーマル
シェ」は始まりま
した。



コロナ禍で活動
の自粛を余儀なく
され、若者支援の
活動資金獲得にあ
えぐNPO SalamatA(サラマッタエー)と協働して、少
しでも活動資金獲得や広報活動を地元で行い
たいとの願いで始めました。

その後、児童養護施設福音堂さんと連携出
来ることとなり、場所を福音堂さんの前に移
して、二〇二一年四月から本格的に始めまし
た。コロナ禍で野菜の販売に困っている茨城
の野菜農家さんとも連携が出来て、新鮮な野
菜販売もスタートしましたが、四月末に緊急
事態宣言が再び発出されて、チャリティーマ
ルシェも休止を余儀なくされています。

チャリティーマルシェは若者支援で連携

この活動は、若者の支援に関わる法人同
士のコラボで実施。

NPOすみれブーケは、社会的養護を必要とす
る(親を頼れない)若者が、社会で何らかの
困難にぶつかり住む家に困ったときに、住処
(シエハウス)に現在四名の若者が暮らして
います)を提供、自立をサポートする場の運
営をしています。

児童養護施設福音堂は、施設後の若者支援
などに関わる中で進路選択の重要性から、よ
り児童が経済的なことで悩まなず多様な選択
ができるようにするために、マルシェに参加
をして奨学資金等の獲得を目指しています。

このマルシェを通じて、地域の皆さんに、
それぞれの法人の活動内容をお伝えし、とも

に歩めるようにこれからも今をお伝えしてい
きます。

シエハウスの今

すみれハウス(シエハウス)は、いま定
員いっぱい四名の若者が暮らしています。

春に一名がここから巣立っていき、募集開
始ともに相談があり、新しいメンバー加入が
すぐ決まり、四月から新たな暮らしが始まっ
ています。

シエハウスは、キッチン・浴室やトイレ
などが共同スペースでそれぞれの個室がある
暮らしですが、生活でするのでそれぞれが役割
を担って相互に助け合っている暮らしです。最
初から協力がうまくいくことは少なく、週に
何回か理事長自らがアドバイスをしていま
す。

ここでは自立援助ホームと異なり、自分た
ちの力で自立を目指すことを目標としていま
すので、手取り足
取りはしていませ
んが、食事会など
も催してお互いに
助け合えるような
関係づくりにする
れブーケは関わっ
ています。

ボランティアが支え

すみれブーケの活
動は、すべてボラン
ティアによって支えられています。マルシェにも
お手伝いに来ていただいたり、シエハウスで食
事会などのお手伝いをお申し出いただいたりし
て、ボランティアの力にたよっての運営です。



すみれブーケシエハウスは、法外施設ですの
ですべてが自主財源と人材で賄われています
で、これからもボランティアの力が必要です。マ
ルシェを通じて仲間集めをしています。